

設備工事情報シート	衛 生	Ⅱ－P－51	制 定	2018年3月1日
			改 訂	
Ⅱ．メーカー情報	樹脂管スプリンクラーシステム		オンダ製作所編	

1. 目的・概要

オンダ製作所のスプリンクラーシステムは「カポリSP」、「カポリSPE」の2つのシステムがある。

- ・カポリSPは、ワンタッチ接続式であり工場でのプレハブ対応はもちろん、現場での配管接続が可能である。
- ・カポリSPEは、EF式で工場にて融着・漏水検査を行うので、現場での接続は不要で工期の短縮、品質向上に有効である。

2. 適用範囲

この配管システムは、消防法に規定される共同住宅用湿式スプリンクラー設備であり適用範囲は以下に示す。

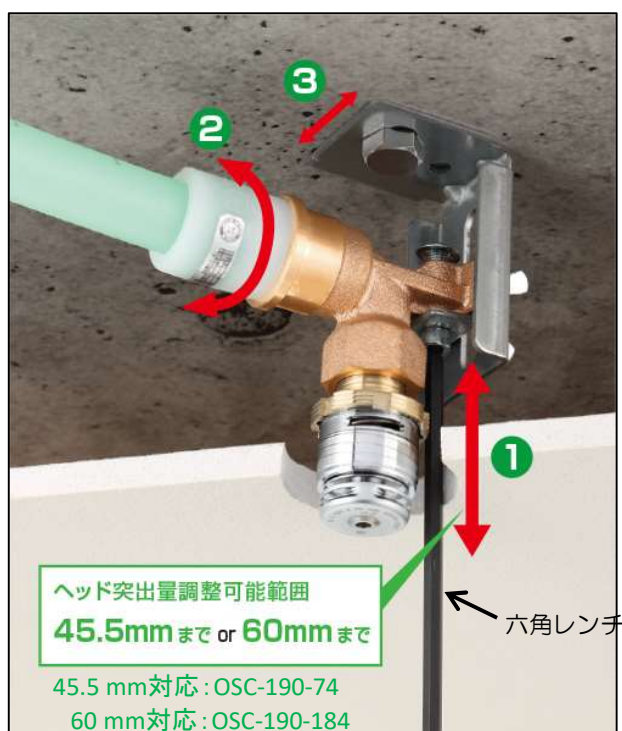
- ・ヘッドは「小区画型Ⅰ型ヘッド」に対応
- ・最大使用圧力は1.0 MPa
- ・支持固定間隔は3 m以下
- ・最小曲げ半径は架橋ポリエチレン管16A 200 mm



スプリンクラーシステムイメージ図

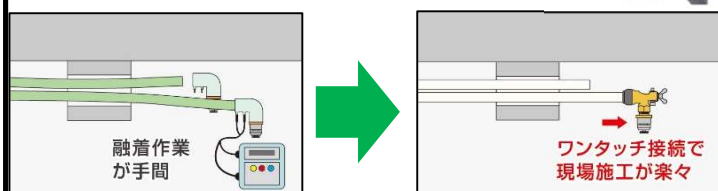
3. 特徴

(1) ヘッドエルボの高さ微調整構造



(2) ワンタッチ継手による作業性の向上

ワンタッチ継手



① 部屋内からのヘッド突出量調整可能

ヘッドの突出量調整は、六角レンチ1本で固定・解除のねじ操作をすることで行うことができます。天井ボード施工後にヘッドの仕上げ高さがずれてしまっても、部屋内から簡単に調整できる。
なお、天井孔は各社ヘッドメーカーを参照のこと。
（当社推奨はφ46 mm以上）
孔から六角部が見えない場合、六角レンチを斜めに差し込むなどして施工のこと。

② 回転自在

継手に接続後も樹脂管は回転自在なので、ヘッドの傾きを抑制できる。
ユニット開梱・設置する際に樹脂管のねじれを心配する必要がない。

③ 中心位置微調整可能

ヘッドエルボ固定金具上部の長穴形状により、天井スラブ等に固定金具を取付ける際、ヘッド設置位置との中心合わせの微調整（10mm程度）が容易である。

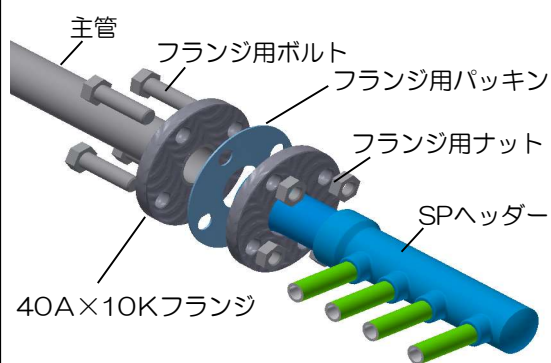


● 梁貫通部での電気融着作業が不要

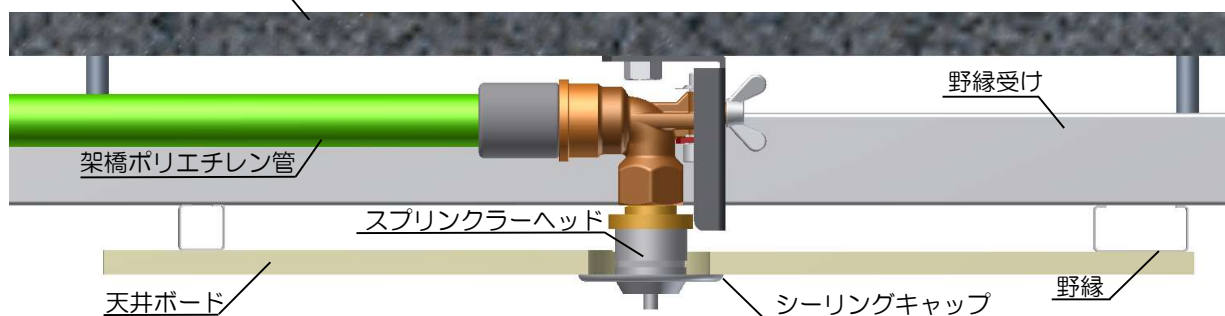
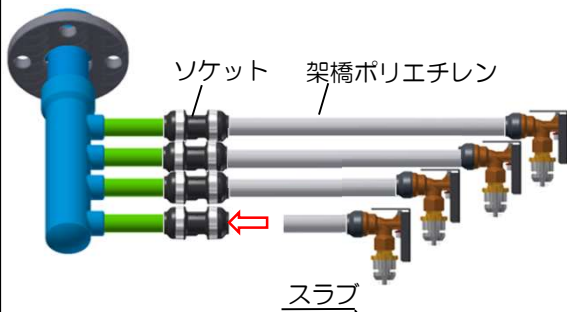
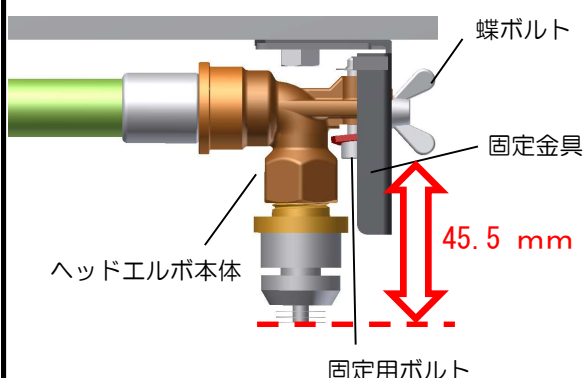
融着式継手では、樹脂管を梁貫通させた後に継手の融着作業を行う必要がある。
ワンタッチ式では、梁貫通後ワンタッチで接続できるため施工時間を短縮できる。

* 継手の接続手順はメーカーの施工マニュアルを参照

4. 施工方法



高さ調節可能



ヘッドエルボ天井施工図

* 施工詳細はメーカーの施工マニュアルを確認のこと。

5. 問い合わせ先

株式会社 **オンダ製作所**
URL <https://www.onda.co.jp>

営業本部 特販課 物件グループ
首都圏 (03)5822-2061(代)
関西圏 (06)6110-9800(代)